

2018年1月4日

CA Technologies 2018年 年頭所感 モダン・ソフトウェア・ファクトリの推進で日本企業のさらなる躍進を

～アジャイル、自動化、インサイト、セキュリティで企業イノベーションの創出を支援し、
アプリケーション・エコミーをけん引～

(2018年1月1日、東京発)
新年明けましておめでとうございます。

CA Technologies 日本法人にとって、設立20周年という節目の年となった2017年は、大変実りの多い年でした。

まず、ビジネス面においては、デジタル・トランスフォーメーションを支援するための取り組みが、市場の成長と変革において、重要な役割を果たすことを実感することができる一年となりました。具体的には、IoT やフィンテック、ビッグデータなどの普及と、新しいビジネスの創出の中で、API 管理、アジャイル管理、および DevOps の分野で、お客様のデジタル・トランスフォーメーションを実現するための様々なご支援をさせていただきました。

また、ソリューション面に関しては、デジタル・トランスフォーメーションの中核となる戦略的コンセプトとして、「モダン・ソフトウェア・ファクトリ」を打ち出しました。モダン・ソフトウェア・ファクトリとは、企業がアジャイル、自動化、インサイト(洞察)、セキュリティを活用することによって、デジタル・トランスフォーメーションをいかにして成功に導くかを指し示したものです。秋には、セキュリティ製品群の一つとして、お客様のハイブリッド IT 環境を保護する次世代 特権 ID アクセス管理ソリューション「CA Privileged Accesses Manager」を、無事に日本市場に投入することができました。

さて、ビジネスにおける IT の重要性がますます高まっていく中、2018年は、日本法人の代表取締役社長就任から3年目となります。私たちの使命は、様々な障壁を取り払い、お客様自らのビジネス変革を可能にするソリューションを提供することです。モダン・ソフトウェア・ファクトリを通じて、アプリケーション・エコミーの次の波を勝ち取る準備をしながら、お客様が既存の IT 投資の価値を最大限に発揮するためのツール、テクノロジー、および専門知識の提供にさらに注力していく一年にしたいと考えております。

今後、ソフトウェアやアプリケーションは、企業の高次元な経営資源として API で相互につながるようになります。そして AI(人工知能)、マシンラーニング(機械学習)などが付加価値を生み出す動きは、より一層加速していきます。当社は、ソフトウェアの開発、運用管理、セキュリティという全ての価値連鎖(Value Chain)を、網羅できる独自の強みを活かし、日本企業のデジタル・トランスフォーメーションを推進し、イノベーション創出を支援する所存です。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

日本 CA 代表取締役社長 反町 浩一郎

CA Technologies について

CA Technologies (NASDAQ: CA) は、ビジネスの変革を推進するソフトウェアを提供し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスをつかめるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。CA Technologies の詳しい情報については、<http://www.ca.com/us.html> (米 CA Technologies)、<http://www.ca.com/jp> (日本)をご覧ください。また、ツイッターについては、https://twitter.com/ca_japan をご覧ください。

***本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。**

この件に関する報道機関からのお問い合わせ先:

CA Technologies
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-9 JA 共済ビル9階
コーポレート・コミュニケーション部
TEL: 03-6272-8110 FAX: 03-6272-8115
e-mail: ca-pr@kyodo-pr.co.jp